

防護対策

イノシシによる農作物被害を防ぐには、イノシシを知り、しっかりとした防護を行うことが大事です。そこで、防護柵を設置している人たちに話を聞きました。

ようやくあきらめてくれた

野嶋重喜さん
(五和町城河原・66歳)



地元で牛100頭を飼育しています。平成23年に、国の補助事業を活用して、仲間3人と共同で牧草地9ヘクタールの周囲1・3キロメートルにわたり、ワイヤーメッシュの防護柵を設置しました。この農地は、まわりが山に囲まれていることもあって、長年、イノシシの被害に悩まされていたんです。きれいだつた牧草地の風景が、ひと晩のうちにイノシシが牧草をむしり、土を掘り返し、農地の法面を崩すなどして、翌日にはそれは無残な姿になっていました。その光景を目の当たりにしたときは、イノシシに対する憎しみを通り越して、「こりゃ作ったつちやいっしょ。もう（牧草を）作るとはやめんば」と、ほんとうに落ち込みましたね。それでも「何とか対策をし



◀柵の外側にはイノシシが土を掘り起こした形跡が

なければ」ということで防護柵を設置。今年に入り被害はまったくなくなり、「イノシシがようやくあきらめてくれた」と思っています。自分が飼っている牛には、なるべく自分がつくった牧草を与えたいと思っていましたので、ほんとうに良かったと思っています。

みんなでイノシシ対策

中山間地域等直接支払交付金
鷺口集落協定（有明町大島子）
〔山川常春代表ほか5世帯〕



国の中山間地域等直接支払交付金を活用して、地区内の農家5世帯が集まり共同でみかん畑や田んぼ、農道などの維持・管理作業を行っています。

有明町でイノシシが出没しはじめたのは、10年くらい前だつたと思います。町外のイノシシ被害のひどさを聞いていましたので、そのときに5世帯が所有するあわせて12ヘクタールのみかん畑に、電気防護柵を設置しました。それ

ぞれ所有する畑が隣接している場合は、お互いの畑の周囲を囲むようにして、効果的に柵を設置。おかげで、これまでに被害は皆無とまではいえませんが、ひどくやられたこともありません。最小限に食い止められているのではないかと考えています。また、やはりイノシシの数を減らさなければならぬということ、3人が狩



◀設置されている箱わな

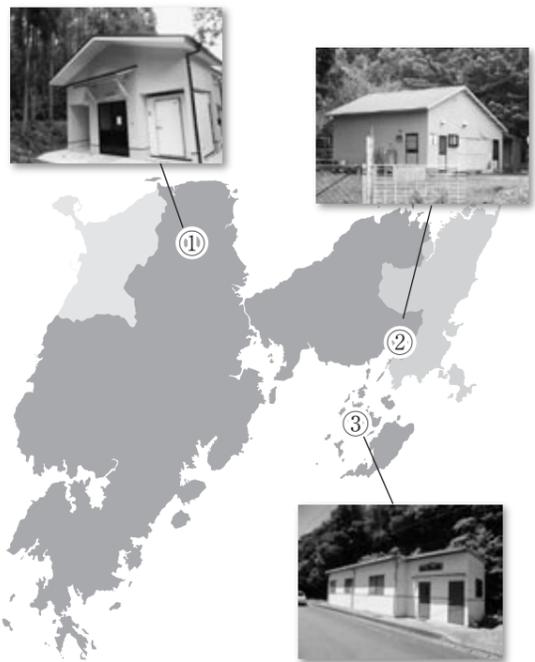
猟免許を取得しました。市の補助金を活用して箱わなを購入し、地区内には常時10基の箱わなを設置しています。4月からすでに20頭以上を捕獲しており、これは今まででいちばんはやいペースです。有明町では、年々ほんとうに捕獲頭数が増えていると感じています。何か立ち向かうときは、1人よりもみんなの方が心強いですよね。今後も、みんなで農地を守るという意識で、イノシシ対策を行ってきたいと思っています。

解体処理

市では、イノシシの適正処理や食肉への流通を促進するため、イノシシ解体処理施設の利用を推進しています。

現在、市内には3つの処理施設があります。持ち込み方法や解体処理にかかる費用についての詳細は、各処理施設へお尋ねください。

- ①天草地域有害鳥獣処理組合（五和町手野）
- ②宗政興産倉岳処理場（倉岳町浦）
いずれも、清田さん ☎090(9910)1280
- ③山王館（御所浦町牧島）
黒田さん ☎080(2722)3756

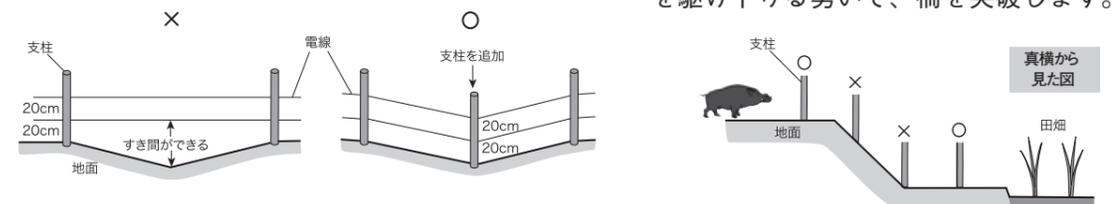


電気防護柵の設置・管理を適正に！

現在設置している電気防護柵は、適正に設置・管理をしていますか。設置と管理に不備があれば、せっかくの防護対策も台無しになってしまいます。

電気防護柵の効果を最大限に発揮するために、次のことを心がけましょう。

- ・柵と地面の間のすき間は、地面から20cmを保ちましょう。すき間からイノシシが入ります。
- ・斜面や傾斜が終わったところには設置しないようにしましょう。イノシシが斜面を駆け下りる勢いで、柵を突破します。



参考：熊本県鳥獣被害対策の手引き

電気防護柵を設置しませんか

電気防護柵の設置費用の一部に補助金を交付しています。詳細は、本庁（別館）・農林整備課 ☎231111へお尋ねください。